

ウィークリー

2017年2月2日開会 (通算2回)

例会開催日は、木曜日です。

開会点鐘・歌の斉唱

我等の生業



手に手つないで



会長挨拶



山口誓子ゆかりの料亭・松楓閣

本日は宮の杜RC第2回の例会です。夜間例会で夫人同伴例会でもあります。
「山口誓子ゆかりの料亭・松楓閣」についてお話をしたいと思います。

松楓閣は、最初に庭、つぎに建物を作ると言う手間のかかる昔の建築工法で作られ、約8年の歳月をかけて大正元年に完成したそうです。
玄関先に「句碑」があるのにお気づきでしょうか。(写真参照)



「紅椿 荒石をもて 荒瀬とす」 誓子

山口誓子(1901—94)は、明治34年に京都で生まれ、大正11年(1922)に東京大学法学部に入学しました。そこで水原秋桜子を知り「東大俳句会」で活躍します。昭和2年(1927)には「ホトトギス」の選者となり、水原秋桜子・高野素十(すじゅう)・阿波野青畝(せいほ)・山口誓子の四S時代を創りました。昭和7年(1932)に処女句集「凍港」を刊行して、俳人としての地位を確立しました。「海に出て 木枯帰る ところなし」の句は、昭和20年(1945)8月の作品ですが、占領下で検閲をおそれて発表されなかった。今日では誓子の代表作の一つとされている。また、昭和23年(1948)には俳句誌「天狼」を創刊、翌24年には中日新聞社から「中日文化賞」を受賞している。この少し前から三重県鈴鹿市に居住している。

「紅椿 荒石をもて 荒瀬とす」この句は「枯山水」の静謐に加えて躍動感を表している。庭園の山水を、荒石を敷いて川の流れを表し、その石の荒瀬を紅椿が迎えている様を詠まれたものです。昭和50年の冬に誓子が、松楓閣を訪れ懐石料理を楽しみながら、枯れ山水の庭を見て詠んだ作品でありましょう。句集「雪嶽」に記載されています。句碑として建立されたのは、翌51年(1951)年の正月でした。このことは、誓子句碑のことを書いた「天狼」同人の故人・梅本景太郎氏の書籍に記されている。

また紅椿の句では、昭和32年(1957)四国・足摺岬で詠んだ「紅椿 びっしり防風 林をなす」がある。

「ロータリーの5代奉仕について」

- 1、クラブ奉仕
- 2、職業奉仕
- 3、社会奉仕
- 4、国際奉仕
- 5、青少年奉仕

幹事報告



- ・日本人親善朝食会が6月11日にございます。(2月28日×)
- ・第3回通常例会(2月16日12:20～ @ウェスティンナゴヤキャッスル)
- ・ゴルフ同好会の加入について、再度ご検討ください。
- ・その他同好会の検討にご協力ください。(グルメ同好会など...)
- ・My Rotaryへの登録を順次行います。本人のメールアドレスへパスワード設定のメールが届くのでご対応お願いします。
- ・入会申込書を未提出の方は必ずご提出ください。
- ・本日の理事会での決定事項
→チャーターナイト構成表が議決されました。(配布書類参照)
(チャーターナイトまでは例会前後に打合せが必要になる為、予定調整をお願いします。)
- 次年度組織表が議決されました。(配布書類参照)
- 今後RCC締結を予定しております。
- ・本日チャーターナイトに使用する個人写真撮影を行います。
- ・歌詞の掲載順序が誤ってありました為、お詫び申し上げます。
- ・3月9日までの会員増強にご協力ください。

委員会報告



【出席・ニコボックスより】

(出席報告)	会員数	出席数	出席率
前回(1/19木)	32名	28名	87.5%
今回(2/2木)	33名	26名	78.7%

(ニコボックス)

浅野 信	浅野 慎之	出口 茂
権田 淳裕	樋口 昌男	堀田 崇
堀場 和孝	加藤 謙一	河合 秀紀
牧野 敬充	大野 将義	桜井 博教
佐野 洋一郎	菅原 浩昭	鈴木 拓将
高木 俊郎	田中 吉彦	安田 保
横田 成人	大口 弘和	高木 勝
増田 盛英		
第1回目の夜間例会を迎えて(記念して)		

野村 治
2月4日 51歳になります。
遠山 堯郎
初めての夜間例会です。ノミネーション例会にしましょう。

卓話

懇親会の為ございませんでした。

